

自分ですすめる『学びの一步』

記入例

学習のさんこうにしてください。

5 あなたが、「きつつきの商売」の「3」場面を作るなら、どのような物語にしますか。

場所	天気	どんなお客さんが来るか	お客さんがえらんだメニュー	メニューのねだん	メニューの音	お客さんはどんなことをしたり、言ったりするか
ふなの木林 たきの近く	晴れ	店の人——きつつき	おきやく——たぬきの親子	たきがおちる音	ただ	「ザーザー」「ドォー」 「シー」
大きなはく力のある音を聞いて 元気が出て、びょう気なおった。						

★ほかに読みたい物語を見つけて読みましょう。

教科書44ページには、登場人物が動物の「とかげとぞう」というお話がのっていますよ！

★本を読んだら、読書きろくをつけましょう。

読書ノートが家にある人は、読んだ本をどんなきろくしましょう。



冊	ラベル	書 名 (本の題名)	著者名 (本を書いた人)	読み終わりの日	感想 ◎○	図書館シール
1				/		
2				/		
3				/		
4				/		
5				/		

動物園たんけんレポーターになって、動物園のようすをしようかいする文を書こう

1 絵の中にある言葉を声に出して読みましょう。



全部読めたら色をぬろう。



2 れい文を読み、書き方を確かめましょう。

〈れい〉くじゃくが、きれいな羽を大きく広げています。

「広げる」を「広げて」としてもいいです。

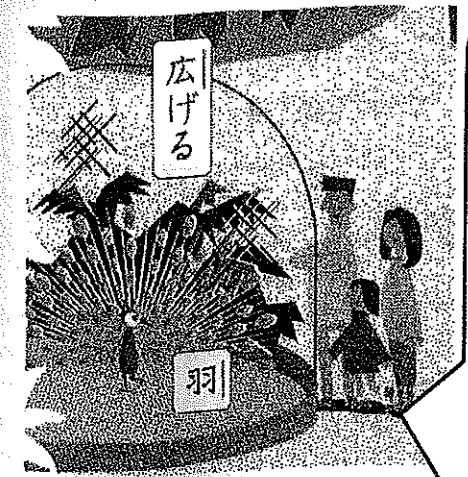
3 絵の中にある言葉を使って、動物園のようすをしようかいする文を書きましょう。

わたしは、動物園たんけんレポーターです。今日は、動物園のようすをしようかします。

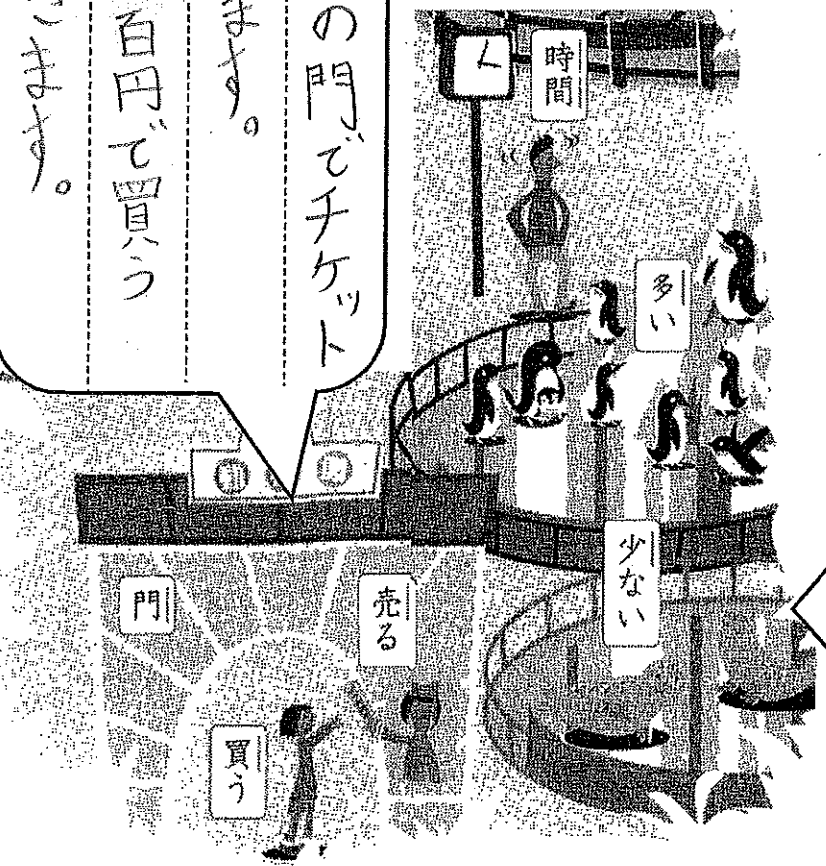


ペンギンは九羽で多くて、アザラシは二頭だけで少ないです。男の人が時間を気にしています。

くじゃくがきれいな羽を広げています。



動物園の門でチケットを売っています。大人は五百円で買うことができます。



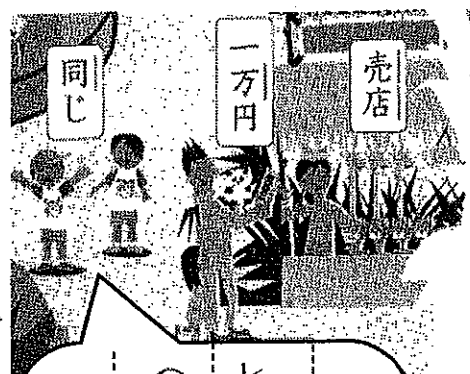
めったに動いたり鳴き声を出したりしないハシビロコウ
を見に、たくさんの方が来ています。

(れい) ウサギやハムスターなどの小さな動物たちとふれあえるコーナーもあります。

★ この動物園は、ほかにどんな動物がいるでしょうか。これまでに習った漢字を使って、さらに
そうぞうしたことを書きましょう。



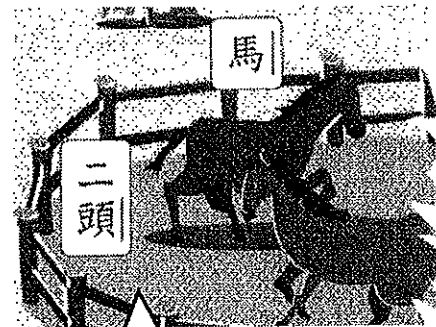
首の長いキリンが
います。体の色は
黄色です。



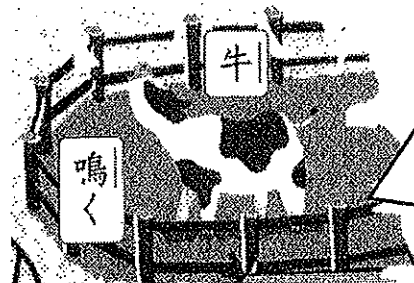
同じふくをきた子ども
たちが売店で一万円
のぬいぐるみも買って
もらう。



強いボスざると弱い
子ざるがいます。高い木
からほかのさるが見て
います。



二頭の馬が楽しそう
に走り回っています。



牛がモーと鳴い
ていました。



たしかめて色を
ぬろう。

★ しょうかいする
文になっている。

★ 漢字を正しく
使えている。

4 書いた文を読み返して、
たしかめましょう。

春をかんじる言葉をあつめ、みの回りで見つけた、春をかんじたものについて書こう

ー生活の中で、春をかんじる言葉をあつめましょう。

春キャベツ

新じゃが

新玉ねぎ

たけのこ

さくらもち

お花見

食べ物

ぼかぼか

行事

春をかんじる言葉

その他

入学しき

しせん・生き物

なえ

さくら

もんしろちょう

めばえ

2 みの回りで見つけた、春をかんじたものや春をかんじた体けんについて書こう。

日曜日に、家族でさくらもちを食べました。ピンク色のおもちのまわりに、本当のさくらの葉がまいてあって、春のさくらをまるごと食べているようだなと思いました。家でお花見をしているみたいで、春だなあと感じました。

お休みの日にさんぽに出ると、
ななの花が黄色いきれいな
花をさがせていました。よく見るとそこにはちょうやテントウム
もいました。たくさんの生き物
がいて、春だなあと感じました。

★「新じゃが」「新学き」「春キャベツ」のように、「新」や「春」がつく言葉をしらべよう。

春雨 春ふかし
新せん 新聞

三～四文で書いて
みましょう。

ステップ1（教科書を見てやってみよう）

ステップ2
（もっとやってみよう）

教科書をさんこうに
もっとあつめよう。

